

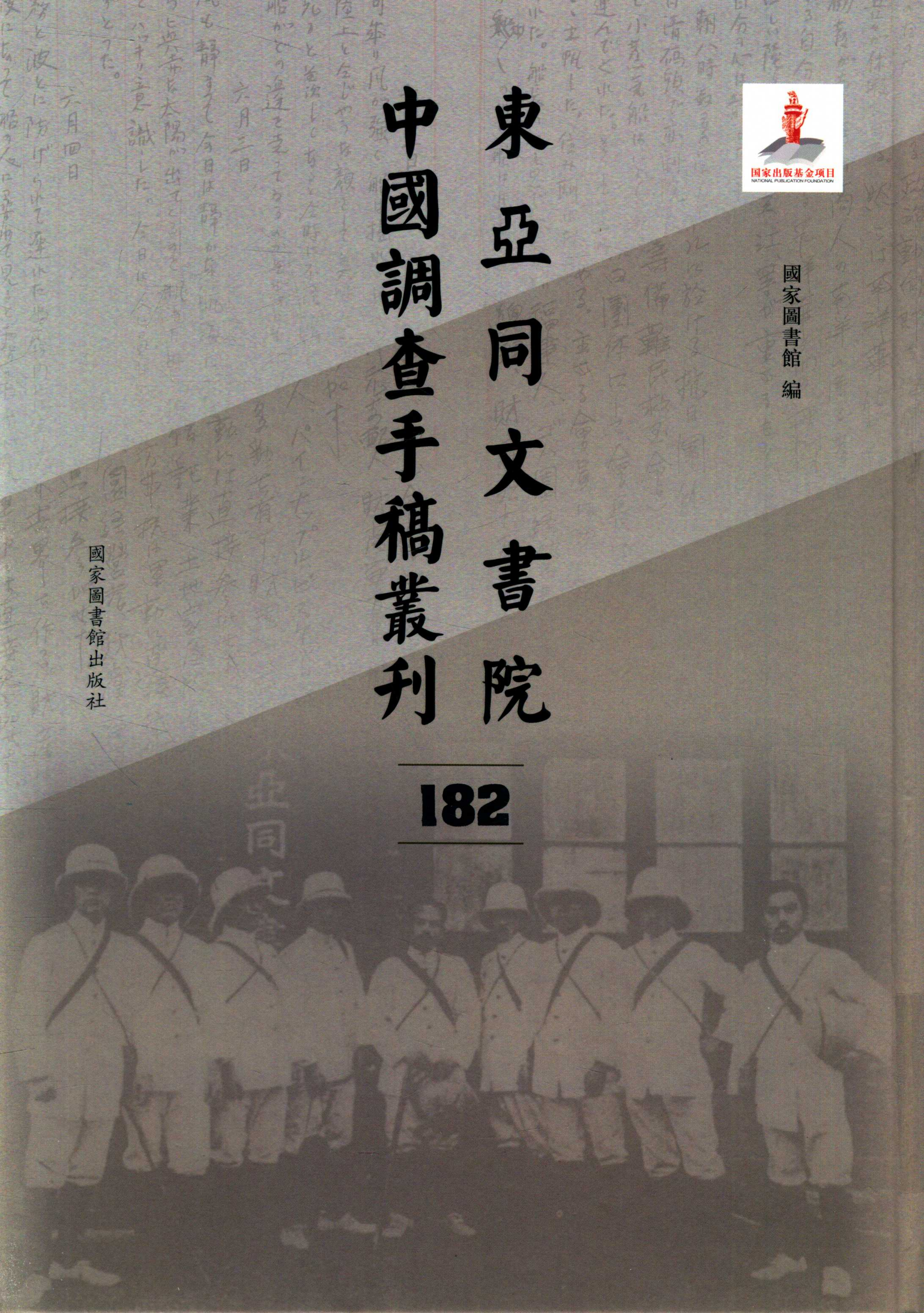


國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

182

國家圖書館出版社





國家出版基金項目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

國家圖書館編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

182

國家圖書館出版社

第一八二冊目錄

昭和十六年（一九四一）調查報告（第三十八期生）

杭州市を中心とする浙江省交通一般狀況

以杭州市爲中心的浙江省交通一般狀況 武藤義一

蕪湖の土布工業に就いて

蕪湖の土布工業 小林三郎 一二五

安徽省の教育狀況

安徽省的教育狀況 山崎正春 一四一

安徽省の政治概況

安徽省的政治概況 笠坊乙彦 二四三

事變前に於ける江西省行政制度概略と戦後の推移に就いて

事變前の江西省行政制度概略及戦後の發展 泉澤尚太郎 三八九

景德鎮陶磁器の商業的調査

景德鎮陶磁器の商業調査 河本忠司 四五三

南昌縣の財政

南昌縣的財政 尾形明 四八三

戦時下に於ける九江の米穀に就いて

九江的戦時穀物問題 荒木勇 五六一

九江縣に於ける教育復興狀況

九江縣的教育復興狀況 工藤良憲 六〇五

昭和十六年度

杭州市を中心とする
浙江省交通一般状況

第十二班

武藤義一

目次

序文

第一章 陸上交通

第一節 道路交通

第二節 鐵路交通

第二章 水上交通

第一節 水路

第二節 汽船交通

第三節 民船交通

第三章 交通當事者に對する第三者の輿論調査

結言

東亞同文書院大學學生調査大旅行指導室

序 文

お米江漸穂うば天下充つといはれ、支那民衆を養ふ穀倉として江南三角洲地帯の存在、地位は余りにも大きなものである。従つて之が金支那への連絡に當る交通の性格も如何に重要地位にあるかは自ら明々白たるものである。而して支那の成語に「南船北馬」といふの語があり、支那の交通を言つて一言に盡したもののであるが、特に本三角洲地帯は水路縦横に走り、從來水路による交通が支配的なる地位を擡つて來たものであり、事變後の今日に於ても大抵が之の水上交通であり之を無視しては他、如何なる交

に	特	徴	を	利	用	し	て	民	船	に	よ	る	密	移	入	を	計	り	居	る	も	の	と	思
地	域	は	皇	軍	の	日	夜	の	警	備	に	も	仲	々	困	難	が	伴	々	為	に	こ	ろ	し
に	し	て、	敵	側	と	し	て	は	幸	に	も	ク	リ	リ	網	の	縦	横	に	走	る	同		
て	自	己	側	に	必	需	す	る	物	資	の	密	輸	吸	収	を	企	て	居	る	事	は	事	實
側	に	於	て	も	之	等	地	方	の	完	全	放	棄	は	忍	び	難	く、	萬	策	を	講	じ	
ぬ	ば	な	ら	な	い	こ	と	は	勿	論	で	あ	る	が、	一	方	に	於	て	重	慶	政	権	
に	ど	う	豊	次	な	る	地	帯	を	新	東	亞	建	設	に	向	つ	て	活	用	せ	し	め	
す	る	と	こ	ろ	と	な	り、	杭	州	地	区	が	第	一	線	地	域	と	な	つ	た。	そ		
而	し	て	事	変	動	發	以	来、	三	角	洲	の	大	部	分	が	皇	軍	の	手	に	歸		
通	機	関	を	も	考	へ	ら	れ	な	い。														

は	れ	る	の	で	今	回	の	旅	行	に	は	主	と	し	て	之	が	調	査	を	試	み	人	と
し	て	着	午	し	た	が		體	感	乍	う	金	く	此	の	点	に	関	し	て	は	詳	に	す
る	を	得	な	か	つ	た	り	で	途	中	より	変	更	し	て	杭	州 ^市	中	心	十	五	縣	と	
主	体	と	す	る	交	通	一	般	状	況	を	見	て	来	る	こ	と	、	し	た				
從	つ	て	觀	察	も	粗	雑	を	免	れ	ず		又	資	料	も	入	手	困	難	ひ	あ	つ	
た	が	以	下	章	を	分	つ	て	纏	め	た	次	第	ひ	あ	る		尚	本	文	中	に	本 ^上	地
区	或	當	地	域	等	と	い	ふ	の	は	杭	州	市	と	中	心	と	せ	る		蕭	山	富	陽
杭	縣	余	杭	武	康	德	清	長	興	吳	興	崇	德	海	寧	海	塩	桐	鄉	嘉	興	嘉	善	平
湖	の	十	五	縣	と	主	と	し	て	指	す	も	の	ひ	あ	る								

第一章 陸上交通

今次の事変に於て、皇軍勇士の犠牲奮闘と高遠なる理想實現へ向つての獻身努力の結果、杭州地区も既に東亞共榮圈の一点として和平建國に欣然参加する二となり、同地区陸上交通に關しても日本人の獻身的進出を見て今日所有部面に於て理想圈の一員としての明朗杭州の建設發展指導に多大の努力を拂ひつゝある。

而して杭州地区の陸上交通も其の他の占領地区と同様に事変前の諸既設部分の速急復興と更に新しき發展的建設活用とは、軍事上よりは勿論の事、其の他政治上、

經濟上、思想上に至る迄極めて重要な一吃緊事である。
殊に今日和平参加地域の点線部分より一大面への擴大
と工作上には、交通網の早急實現は不可欠の第一要素で
ある。特に杭州といふ市街を中心とせる近隣諸部落に至
る迄は和平傘下に吸収するに於て物的面より之を見る時
は當然水上交通と併行評價を受けねばなるまいが、人的
方面より見る場合には陸上交通が一段と高く浮ひ上
つて評價され得るといつて差支なからう。従つて陸上交
通の利用増進に関しては、現地出先官民一体となり日夜
の努力を進め今日益々發展の緒に着きつゝ、ある實狀を親

於て非常なる重要性を有することとは事實である。	の廣範圍なる可能性を含むが故に、人的物的移動交流に	ではあるが、最も單純なる交通から高度の機械化交通迄	運轉は經營上其他の観点から相當の制限が考慮されるの	かりざる困難をも伴ふ。故に道路上に於ける交通機關の	の如く独占的價值を有することと少く又警備上に於ても甚	道路は鐵路 ^に 如 ^比 して比較的網狀性を持ち、従つて鐵道	第一節 道路交通	交通と鐵路交通の二節に分つて記述することゝする。	しく調査見聞せし所に従つて、本章を通路より見て道路
-------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	----------------------------	---	----------	--------------------------	---------------------------

先づ今次事変前及事変後の道路を見て見よ。

(一) 道路

(1) 事変前の道路 (前年度學生調査報告書及杭州特務機關調査に依る)

(1) 國道

京杭國道 (南京—杭州間)

○省境迄の長さ 杭州より一三七・一九料

其の中、杭州—湖州間 九二料

湖州—長興間 三三・三九料

長興—夾浦間 一四料

○經過重要都市 小河・鄞縣・東望・上柏・武康・三

東亞同文書院大學學生調查大旅行指導室

